

日本共産党 松戸市議団ニュース

2020年6月26日

日本共産党松戸市議会議員団
《連絡先》松戸市役所控室
電話 (366) 7403
F A X (366) 5915

6月議会が終わりました

閉会にあたって

新型コロナウイルス対策として、一般質問が30分に短縮され、議案質疑の常任委員会も2日間で実施するなど、異例づくめの6月議会が18日終わりました。保守系会派が質問自粛を主張し、質問者が14人と少ない中、市議団は4名全員が一般質問に立ち、新型コロナウイルス感染症に対する医療体制と検査体制の強化について、再開後の学校教育について、新松戸東側地区土地区画整理事業について、市庁舎立替え問題についてなど9項目23点にわたって質問しました。

議会開会日には、この間のコロナ対策で実施されたコロナウイルス感染症に対する緊急の施策に対する補正予算4件などの専決議案11本が論議され、党市議団も質疑に立ち、市民に寄り添った対応やスピード感を持つての実施を要望し、承認しました。

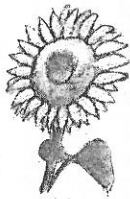
6月議会を通じて他に10本の議案、3本の意見書、1本の決議案について質疑しました。御多忙のなか傍聴にお運びいただきありがとうございました。

6月25日

日本共産党松戸市議団

議案

○補正予算(第1回〜4回)に賛成



緊急のコロナ対策として、第1回から4回までで総額約540億円の補正予算が生まれ専決(議会を通さず市長が決定すること)処分されました。そのうち約504億6千万円は特別定額給付金、残りは介護、保育施設への一律給付や、ひとり親家庭への緊急支援給付金、相談事業や、支援金などの事業者支援、生活困窮者への緊急貸付事業など、また休校により長時間開設となった放課後児童クラブ職員へ最大一人2万円の手当てが加算されることは、我が党も要求してきた内容であり賛成しました。ただし、事業者支援の相談窓口は事業者に寄り添う体制になっているか疑問があり、審査では市の姿勢を指摘しました。

○補正予算第5回は反対

不要不急のGIGA(ギガ)スクール構想よりコロナへの備えを!

今議会、これまでのコロナ対策への財政補填を含む約18億8400万円の補正予算(第5回)が提案されました。党市議団は生活困窮者への家賃補助について自立支援体制の充実や放課後児童クラブ・KIDSルームへの人的・物的支援の拡充、災害発生への備えに対する感染症対策の位置づけ強化などを求めました。

他方、約12億3800万円という補正予算の2/3が、GIGAスクール構想の実現につき込まれます。GIGAスクール構想は、小中学校の全児童に1台ずつタブレットパソコンを配布し、そのためのネットワーク環境を整備するもので、コロナ禍に対する緊急経済対策として国がいきなり今年度中の実施を求めてきたものです。

大急ぎするあまり、ネットワークの工事は校舎の老朽化対策そっこので行われ、いずれ老朽化対策が実施されれば再度ネットワーク工事を実施するという二重投資になります。

教材や各学校での受け入れ準備は「庁内でプロジェクトを立ち上げ、これから調査・研究する」と繰り返すのみで、とても10月からの導入に合うとは思えません。一斉休校による遅れを取り戻そうと頑張る先生や子どもたちに余計な負担をかけるべきではありません。

国は補助金を付けると言いますが導入経費の一部のみで、今後のランニングコストなど膨大な経費は市の負担です。何より、それだけのコストと学校現場への負担を掛けるにもかかわらず、いま求められているコロナ禍の「オンライン授業の実施」には活用されないことも明らかになりました。

日本共産党は教員が足りない、施設の老朽化、子どもの貧困対策、コロナの第2波、第3波への備えなど、GIGAより先にやるべきことがある、として補正予算に反対しました。

○市民の望まないマイナンバーカード普及促進はやめるべき

昨年5月の国会でマイナンバーに関わる通知カードが廃止されたことを受け、手数料条例の一部を改正する条例案が提案されました。これは国がマイナンバーカードの普及促進を進めるための改定であり、国会で同時に改定された戸籍法や健康保険法によって、戸籍情報や保険・健康情報もマイナンバーに結びつけられることになりました。マイナンバーに様々な個人情報をつづけし、国・行政によって丸ごと管理することを狙っています。

マイナンバーカードの普及が進んでいないのは、国民が必要よりも個人情報流出やカード紛失のリスクを大きく感じているからであり、国民が求めていないマイナンバー制度を無理に推進することには反対です。

○精神障害者が重度障害者医療費助成の対象へ

身体・知的障害者に3年遅れて、精神障害者手帳1級所持者が今年8月から重度障害者医療費助成の対象となり、要望してきた団体とともに喜んでいきます。県と市の財政負担となっているため国にも助成を求め、市には流山市同様の精神2級まで対象とするよう求めました。

○国保加入者に傷病手当金を支給

働いている(被用者)国民健康保険加入者が、新型コロナウイルスに感染または感染の疑いがあったて仕事を休んだ場合、国保では初めての傷病手当金が支給されることを評価します。松戸市の被用者はおよそ3万2千人いる中で今回対象者は3人。傷病手当金は1日当たりの収入の3分の2が休んだ日の4日目から日数分支給されます。

7月26日(日)9時半〜12時

第6回 市政学習懇談会

稲台市民センター 本館ホール

☞ コロナのことや要望など懇談への参加ご案内